

京都丹波の教育

# 南丹教育局 NEWS

平成 26 年 9 月 18 日 発行 第 101 号

平成 26 年度

## 京都丹波いじめ・非行防止フォーラムを

平成 26 年 9 月 6 日(土) 京都学園大学光風館にて **開催しました!**



管内の PTA 関係者、学校関係者、社会教育関係者等 約 230 名が集いました。

### 【実践発表】テーマ「私たちの生徒会活動」

発表者: 亀岡市立東輝中学校生徒会のみなさん



PTA とともに取り組んだ全校あいさつ運動「Day&G&Day」や東日本被災地支援の取組生徒会歌「僕らへ」の完成までのエピソードなど、様々な活動の発表をしてくれました。

#### 【参加者の感想】

- ・生徒たちの誠実な取組の発表の姿に感動しました。先生方のサポートが大きかったと思いますが、すばらしく育ち、これからも社会に巣立って行かれることでしょう。
- ・継続的な取組によって、生徒のみなさんが自信を持って活動していることがよく分かった。この取組の裏側には、先生方の一致した指導と PTA や家庭の支援があると思います。大変好感的な発表でした。
- ・生徒たちの清々しい熱意や行動を見せていただき、「最近の青少年はどうなのだ?」とは言えない、捨てたものじゃない、と思いました。たのしいです。「僕らへ」の歌が広く歌われるようになることを願っています。
- ・生徒たち、それを支えた先生方、PTA の方々の熱い思いをひしひしと感じました。言葉で言い表しにくい面もあったと思いますが、それを乗り越えてすばらしい活動になったと思います。今後の展開も楽しみです。

### 【講演 I】演題「ネットトラブルから子どもを守る」

講師: ピットクルー株式会社 業務課 NP チーム 花田 光生 様



インターネットに関するトラブルについて、教師や親、まわりの大人がどのように対応し、子どもをどのように守っていくのか、専門的な知見から御講演いただきました。

#### 【参加者の感想】

- ・スマホゲームをさせておくと子どもが静かになり助かる、と言う親がいる中、あらためてインターネットの使用について考えさせられました。「知らない」から放っておくのではなく、親ももっと学ぶ必要を感じました。
- ・大人は分からないから…と消極的になるのではなく、情報を取り入れ、正しい判断のできる子どもを育てていかなければならないと強く感じました。
- ・事例を交えた対策を教えてくださいました。PTA として学校や家庭と連携して取り組めることがあると思った。

### 【講演 II】演題「健全な子どもの育成をめざして

—学校・家庭・地域の役割—

講師: 京都府総合教育センター 人材育成支援室

総括アドバイザー 木村 義二 様



地域や PTA と連携しながら学校運営をされ、たくさんの実践を積んでこられた経験をもとに、地域全体で子どもをどう育てていくか、という視点から御講演いただきました。

#### 【参加者の感想】

- ・学校、家庭、地域のそれぞれの役割を整理して分かりやすく提示してもらった。PTA 研修として大変意義のある内容だった。先生の生徒達に対する情熱が伝わってきました。ありがとうございました。
- ・様々なアンケート結果やデータを示して、客観的で分かりやすいお話でした。また、中学校長時代の様々な取組を紹介していただき、子どもたちに夢を与え、活躍させることのすばらしさを感じました。
- ・多くの実践に基づく事例を見せていただき、後半の PTA 活動の参考にさせていただきます。
- ・具体的な資料を多く提示していただき、子どもの実態をよく理解することができました。また、大人の役割、子どもへの接し方等、前向きな気持ちになれるお話でした。
- ・親としていつも難しく感じる「叱り方」の例をあげてもらい、ありがたかったです。それにしても、学校のレベルは高いですね。大人としては将来の夢や希望をしっかりとサポートしてあげたいです。